

第1回「地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発」 検討会議事概要

1. 日時

平成21年5月27日（水）13:00～15:00

2. 場所

国土交通省合同庁舎10階共用会議室B

3. 出席者

鎌田実（委員長）、米田郁夫、川内美彦、溝端光雄、大野寛之、岡本博、今福義明、秋山利裕、川村泰利、水田誠、富田征弘、秋澤忠、時枝悦郎、飯田光也、松本博之、岡野俊豪、本多通弘、泰松潤、川口靖、仲條直樹、山下和彦、三崎匡美、福元聡、森下憲樹（代理 石島）、山崎篤男（代理 山崎）奥田哲也（代理 黒須）、清谷伸吾（代理 甲斐）、後藤浩平

敬称略順不同

4. 議事概要

稲葉審議官の挨拶の後、以下の項目について報告及び議論がなされた。

（1）委員長選出

昨年度に引き続き、鎌田教授が委員長として選出された。

（2）平成20年度の取り組み（資料2～3）

後藤室長より、本事業の概要及び平成20年度の取り組みについて説明があった。

（3）平成21年度の検討の進め方（資料4～5）

後藤室長より、平成21年度の検討の進め方について説明があり、了承されるとともに、詳細についてはバス・タクシーの作業部会を設置し検討することとなった。なお、委員より主に以下の発言があった。

- ・ 車両の普及の枠組みについても検討を行うべきである。
- ・ バス車内レイアウトについて、車いすやベビーカーの動線確保という観点での検討も必要である。
- ・ モックアップによる評価の際に、乗務員の視点による評価も必要である。
- ・ フルフラット低床バスの開発については市場規模も考慮すべきである。
- ・ ユニバーサルデザインタクシーの開発について、短期対応、中長期対応という観点での検討が必要である。

（5）総括

鎌田委員長より総括がなされた。

以上